

魚の城下町

羅臼町広報誌

みんなが主役のまち

5
2020

NO.300

町ホームページ



公式Facebook



公式Instagram



みんなで広めよう 「らうす」のシンボルマーク

今月の主な話題

- ☑ 令和2年度町長行政執行方針 2
- ☑ 令和2年度教育行政執行方針 3
- ☑ 新型コロナウイルス感染症に関する経済支援等一覧 4
- ☑ 新型コロナウイルスに負けないで！ 6
- ☑ ふるさと 一元島民が語る 当時の記憶ー 15

令和2年度 町長行政執行方針 重点推進項目

地域を支える産業の活性化を 目指します

- ・ 持続的漁業生産体制の確立と栽培漁業を推進する。
- ・ 資源の減少や来遊する魚種の変化について、羅臼漁業協同組合と連携し、原因究明と対策に取り組む。
- ・ 安定した収入確保と雇用形態の在り方を羅臼漁業協同組合と連携し、模索していく。
- ・ 海洋深層水の確保は重要な課題であることから、羅臼漁業協同組合及び北海道開発局、北海道と十分な協議を重ね、早期に深層水の安定確保を図る。

幸せを感じる医療・保健・福祉・ 介護の充実を目指します

- ・ 診療体制を維持していきけるよう、医師並びに看護師など専門職員の確保を孝仁会と連携して取り組む。
- ・ 生活習慣病の予防や早期発見のため、各種健診の受診勧奨に力を入れる。
- ・ 第8期羅臼町介護事業計画を策定する。

うるおいある快適な生活環境の 充実を目指します

- ・ ごみ袋の料金改定、ごみの減量化に向けた分別方法の見直しなどを検討する。
- ・ ヒグマ対策の有効な手段として、草刈り活動や誘因物となり得るゴミの処理など、町内会を通じて地域ぐるみの活動となるよう関係機関と連携し取り組む。

安全・安心なまちづくりを目指します

- ・ 「知床羅臼」のPRや雇用創出に向けた企業誘致などを積極的に行う。
- ・ 道の駅「知床・らうす」駐車場の舗装化等を含めた周辺整備を進める。
- ・ 企業誘致を含めた雇用の場を創るための新たな産業創出を目指す。
- ・ 「知床らうすブランド」や「ふるさと納税」の取り組みを更に強く進める。
- ・ 情報の共有と伝達・連携を重視した防災訓練を実施し、防災意識の向上を図る。
- ・ 登録制防災メールの登録者の増加に向けて取り組む。
- ・ 緑町団地の建替事業を推進し、建設工事と外構整備工事を実施する。
- ・ 空き家バンクにもなかなか登録がされず、適切に管理されていない老朽化した空き家も解決されない状況にあるため、空き家台帳を更新し、問題解決に向けて所有者等の特定や助言・指導を行う。
- ・ 水道施設の更新計画策定に向け調査検討を進める。

豊かな心を育む教育文化のまちを 目指します

- ・ 一校一園化については、適正配置計画を作成したのち、教育関係者や町民の皆様の意見を頂きながら、教育環境構築に努める。
- ・ 英語教育が本格化することや子ども達の語学力向上を目指すため、羅臼町独自にALT（外国語指導助手）を増員する。
- ・ 町民体育館の耐震改修と施設の機能を充実するため内部改修を実施し、令和3年度のリニ



ユーアルオープンを目指して準備を進める。

身の丈に合った財政健全化の実現を目指します

- ・「羅臼町公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の老朽化などに対しては、優先順位を付け、計画的に補修、改修、建設を進める。
- ・公平・公正の観点から納期内自主納付の啓発を強化して税収確保に努める。
- ・滞納の累積化や再発を防ぐため、財産調査や搜索なども積極的に行い、釧路・根室広域地方税滞納整理機構や北海道とも連携しながら、法令に則り滞納整理を粛々とかつ厳格に進める。
- ・今まで以上に創意工夫をもって、行財政改革に取り組み、歳出全般にわたり、経常経費の節減合理化に努める。
- ・身の丈に合った当町独自の財政構造を構築し、次代を担う子ども達に誇れるまちづくりを進めるため、持続可能で健全な財政基盤の構築を目指す。

SDGsの取り組みについて

- ・SDGs（持続可能な開発目標）の17目標を基本に、当町の未来構築のために「今できることは何なのか」を考え、行動に移していく。「SDGsとは何か」を理解していくため、職員研修や町民への勉強会などを企画する。

令和2年度 教育行政執行方針 重点推進項目

社会で生きる力の育成

- ・確かな学力を育む教育を推進するため、教職員のスキルアップが必要であることから、基礎学力の定着に向けた各種研修会を実施する。
- ・新学習指導要領に沿った学びを推進し、子ども達が自ら学び、自ら考える授業を目指した「学力向上プラン」を策定する。
- ・社会に開かれた教育課程に向け、地域の方々に参画していただく、「羅臼町学校運営協議会（コミュニティスクール）」を設置する。
- ・高度な情報化社会に向けた教育として、ICT環境の整備を目指す。

羅臼町の未来を拓く人材の育成

- ・町内の高校として存続させるため、町内の生徒が進学したいと思う魅力ある高校づくりを推進する。
- ・持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）として、全ての学校をユネスコスクールに登録し、知床学として「クマ学習」や「海洋教育」などに取り組んでおり、今年度も引き続き関係機関と連携を図り、資質と能力を高める取り組みを推進する。

生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

- ・子ども達に生まれ育った地域の歴史や文化などの理解を深めるとともに、地域の魅力について愛着と誇りを育ませる「ふるさと学習」の推進を図る。
- ・図書館の利用者サービスの維持、向上を図るとともに蔵書検索システムや移動図書館バスの有効活用などを図り、子ども達の読書活動を推進する。
- ・町民の体力向上に向けた取り組みとして、限られた環境の中で、町内にある学校の体育館などを活用し、少しでも持続的に活動できるように調整する。
- ・これからのまちづくりに活かすための郷土資料館講座や出前講座を企画し、郷土を学ぶ機会の提供を図る。また、羅臼町郷土資料館の施設の利便性を図るため、施設の改修を実施する。



新型コロナウイルス感染症に関する経済支援等一覧

羅臼町版

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、町民の皆様方におかれましては、不要不急の外出の自粛等感染拡大防止に係る取組にご協力いただき、ありがとうございます。とりわけ、飲食店、観光業者等をはじめとする各種事業者の皆様におかれましては、営業自粛等への協力、誠にありがとうございます。

このような状況を踏まえ、当町ならびに国・道では、皆様方への各種経済支援等を行っているところですが、主な経済支援の概要及び受取方法等についてまとめましたので、ご確認ください。

【各種経済支援等一覧（令和2年5月15日現在）】

特別定額給付金

対象者：令和2年4月27日現在で住民基本台帳に登録されている全町民

支給概要：各世帯構成員に10万円を支給（世帯主に振込）

支給方法：5月11日から、各世帯あてに申請書を送付

5月18日から8月18日まで申請受付

※郵送・オンライン・役場窓口で受付

必要書類：①お振込先口座の通帳の写し

②本人身分証明書（各種保険証や運転免許証等）の写し

お問合せ先：役場企画振興課（87-2114）

水道料金の減免について

対象者：全世帯

概要 要：今年度料金改定による増額分を、令和3年3月請求

分（令和3年2月検針分）まで減免

※町民の皆様の申請等は不要です

お問合せ先：役場建設水道課（87-2163）

羅臼町新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金

対象者：飲食店事業者（食堂、居酒屋、喫茶店、スナック、バ

ー）、宿泊事業者（旅館、ホテル、民宿）、観光事業者

（観光船、土産店）のうち、一定の条件を満たすもの

支給概要：飲食店事業者、宿泊事業者、観光事業者に一律30万円

を支給

支給方法：5月29日までに役場産業創生課窓口にて受付

※郵送でも申請可

必要書類：①申請書（様式は役場HPでダウンロード可）

②請求書（様式は役場HPでダウンロード可）

③お振込先口座の通帳の写し

④確定申告書の写し（個人事業者のみ）

お問合せ先：役場産業創生課（87-2126）

町税及び国保税について

低所得世帯等一定の条件を満たす方については、町税及び国保税の納付に関するご相談に応じることができません。

詳細については、各お問合せ先にご相談ください。

国保税に関するお問合せ先：役場保健福祉課（87-2161）

町税に関するお問合せ先：役場税務財政課（87-2113）

その他国・道からの支援

●休業協力・感染リスク低減支援金

4月25日から5月15日まで休業要請に協力いただき、感染リスク軽減の取組を行う事業者のうち、①休業要請を受けた施設を休業した法人に30万円・個人事業者に20万円を支給 ②酒類を提供する①を除く飲食店において、酒類の提供時間の短縮を行った法人・個人事業主に対して10万円を支給

お問合せ先：北海道休業要請相談専用ダイヤル

(011-206-0104)

●中小法人・個人事業者のための持続化給付金

売上が前年同月比50%以上減少している法人に200万円、個人事業主に100万円を支給（ただし、昨年1年間の売上からの減少分を上限とする）

お問合せ先：持続化給付金事業コールセンター

(0120-115-570)

その他新型コロナウイルス関連の貸付金、給付金

●緊急小口資金、総合支援資金

休業・失業等により家計を維持できない方向けの貸付金

↓社会福祉協議会（87-3243）

●小学校休業等対応支援金

小学校等の休業により、就業できなかったフリーランスの方向けの給付金

↓学校等休業助成金・支援金、雇用調整助成金コールセンター

(0120-60-3999)

●小学校休業等対応助成金（事業主向け）

お子さんのいる従業員の休業対応のための助成金

↓学校等休業助成金・支援金、雇用調整助成金コールセンター

(0120-60-3999)

●雇用調整助成金

従業員の休業補償に係る助成金

↓ハローワーク根室（0153-23-2161）

↓ハローワーク根室中標津分室（0153-72-2544）

●実質無利子・無担保融資（事業主向け）

資金繰りのため、融資を受けたい方向けの貸付金

↓日本政策金融公庫事業資金相談ダイヤル

(0120-154-505)

新型コロナウイルスに負けなぞ!

くすべての子ども達に勇氣と安心をく

「当たり前前の日」がなくなった・・・

新型コロナウイルスの感染拡大による、緊急事態宣言を受け、町内の小中高では臨時休園・休校が続いています。

本来であれば、沢山の人達に見守られ、祝福されながら迎えるはずだった「入学式」や胸いっばいに期待を膨らませながら過ごす先生や友達との大切な「時間」。そんな「当たり前前の日」が町内の幼稚園、各学校に通う540名の児童・生徒からなくなりました。

一方で、町内の児童・生徒を勇氣づけようと町の大人達が立ち上がりました。それぞれの団体や企業が「今、できること」で、540名の児童・生徒と全ての羅臼町民に勇氣と安心を与える活動を展開してくださっています。

「届けよう手作りマスク」 商工女性部によるあったかい見守りの気持ち

一時的に通常登校が再開された4月上旬、安心・安全な学校生活を送るにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が必要となる一方で、羅臼町でもマスクが手に入らない状況が続いていました。

そんな中、羅臼町商工会女性部の皆さんの「子ども達に少しでも安心して通学してほしい。」との心温まる思いから、全児童・生徒に2枚ずつ手作りマスクが配布されました。

材料となるガーゼやゴムひもが入手困難な中、さらしや毛糸で代用するなど女性らしいアイデアを出し合い、商工女性部員10人の手により、約1600枚の手作りマスクが作られ、各学校を通して全児童・生徒に手渡されました。

この活動は、全道版の新聞等でも取り上げられ各自自治体の商工会女性部などを中心に活動が広がりました。



※作業は、感染予防を実施したうえで取り組みしています。

できることで助け合う く町内企業からの支援と協力

終息の目途もつかず不安な状況が続く中で学校再開を心待ちにする児童・生徒に対しての支援や協力は広がりを見せています。

町内の水産加工業(株)マルナカ(代表取締役中西正幸)様からは、このような状況下においても、町内の子ども達の成長と次代を担う青年の育成に向けた環境整備への活用と町内の子ども達への新型コロナウイルス感染予防対策として活用してほしいとの思いから、羅臼町体育文化振興基金に寄付をいただきました。新型コロナウイルスの影響を受け、子ども達の学びにも様々な制限がかかる中、終息後にはこれまで以上の学びと成長の機会を提供できるよう有意義に活用させていただきます。

全町民へも安心・安全を!

また、(株)マルナカ様のご厚意により、マスクと同様に町民の日頃の生活において「消毒液」が不足する中、代用できるものとして「次亜塩素酸水溶液」を無償でご提供いただきました。

ご提供いただいた「次亜塩素酸水溶液」を活用させていただき実施した町民配布では、沢山の町民が容器を持参し役場を訪れ、各家庭での消毒作業等にご活用いただくことができました。

更には、学校施設や福祉施設等の消毒作業での活用のほか、町内の宿泊施設や飲食店の皆さまにもご活用いただくなど、町内企業のご協力により子ども達だけでなく多くの羅臼町民の安心・安全に繋がる取り組みとなりました。



こんな時だからこそ 新たな取り組み

羅臼に戻れなかった学生へ
「おうえん特産品小包み」を届けました！



羅臼町では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ゴールデンウィークの期間中、帰省の自粛をされている羅臼町出身の学生に対して、町内の特産品を送る取り組みを実施しました。

「おうえん特産品小包み」は、羅臼町外に居住している羅臼町出身の16歳から30歳の学生であり、5月6日までの期間において羅臼町への帰省を自粛している方を対象として申込みを受付しました。全64件の申込みがあり、5月1日に全国で夢を追う羅臼町出身の学生達へ届けられました。

「おうえん特産品小包み」は、1人暮らしでも食べやすい水産加工品を中心にマスクや羅臼町1200年関連グッズなどが入っており、帰省自粛に協力していただいていることへの感謝の気持ちと、離れていても羅臼を感じてもらえる品物を送ることで、ふるさと羅臼全体で応援している思いを伝えることができました。



羅臼町職員も「今、できること。」を实践

《羅臼町職員によるお弁当運動》

例年の3月であれば送別会や謝恩会で町内の飲食店は賑わいます。しかし、新型コロナウイルスの影響を受け自粛されるケースが多く、キャンセルが相次ぎました。「大変、厳しい状況だよ・・・」と各店から声が寄せられる中、羅臼町職員の毎日の生活の中でできることを探し取り組まれたのが「お弁当で飲食店を応援企画」です。

役場では、3月末までの毎週火曜日をお弁当の日とし、企画に賛同する職員でお弁当を発注しました。羅臼町飲食業連合会より、事前に対応可能店の情報をいただき、各店手の込んだ一律1000円の「おまかせ弁当」をお昼に届けていただきました。

羅臼町職員として毎週1回、ひとり1個、ひとり1000円の小さな企画でありましたが、地域へのひとつの応援の取り組みとして展開することができました。

お弁当で飲食店を 応援企画	
3月10日	61個
3月19日	35個
3月24日	45個
3月31日	50個
合計191個	



《らうスキップで取り組む支援の形 町内消費拡大を！》

新型コロナウイルス状況下において少しでも町内消費を拡大していこうと羅臼町職員労働組合の呼びかけで、羅臼町管理職懇話会や羅臼地区連合（自治労・JP・北教組）なども取り組み団体に加わり「らうスキップを活用した町内消費拡大運動」が始まりました。

この取り組みは、各団体の全道規模の会議や出張が相次いで中止となり必要となくなつた経費を地域に還元しようという企画で、「らうスキップ商品券」をそれぞれの団体が購入し構成員に配布、町内全ての分野で消費拡大が進むよう取り組み中です。

みんなで「らうす」のシンボルマーク 広めよう

多くの場面で目にする「魚の城下町らうす」のシンボルマーク。実は作成から20年以上が経過し今も皆様に利用されているシンボルマークです。改めて普及に力をいれるべく、シンボルマークをデザインしたグッズを町内の子ども達や機関等に配布させていただきました。

●まちな花・木・鳥・技の廃止

昭和45年9月15日、羅臼町70周年記念を機に、まちな花「シバザクラ」、まちな木「ななかまど」、まちな鳥「オジロワシ」、町技「スキー」が制定されました。

しかし、制定から50年が経過し、羅臼町を取り巻く状況も大きく変化しました。平成26年度に行った町民アンケートにおいても相応しくないとの意見が多かったため、各種会議で議論した結果、令和2年3月31日をもって、まちな花・木・鳥・技を廃止することとなりました。

●「魚の城下町らうす」のシンボルマークの普及

羅臼町を表す花・木・鳥・技を廃止することとなりましたが、これを機に改めて「魚の城下町らうす」のシンボルマークの普及に努めることとなりました。

シンボルマークの普及素材として、皆様に利用されやすいトートバックやクリアファイル、梱包テープやシールを作成することとし、それぞれに印刷するデザインを羅臼町出身のイラストレーターである池田蔵人氏に依頼しました。デザインはシンボルマークを中心に町民と羅臼町に生息する海や陸の生き物を配置したものとなっています。



トートバックやクリアファイルなどは、主に町内の幼稚園から高校までのみなさん、梱包用テープやシールは、主だった機関・企業に配布させていただきました。

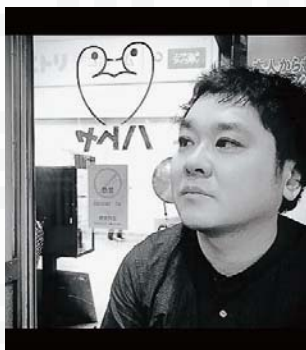
今回作成したデザインを含め、様々な場面で「魚の城下町らうす」のシンボルマークをPRしていきますので、皆さんにもぜひ活用していただければと思います。

シンボルマーク使用のお問い合わせは役場企画振興課（87-2114）まで。

「魚の城下町らうす」のシンボルマーク



平成9年、水産・観光の振興と羅臼町のイメージ形成として、「羅臼町を象徴するシンボルマーク」を全国公募。町内はもちろん南は沖縄まで全国各地から583点もの作品が寄せられた。最終選考で5点に絞られ、住民投票で決定。平成10年には活用基準も策定され、現在まで多くの商品等に利用されている。



池田 蔵人 (いけだ くらんど)

昭和50年11月14日生まれ。羅臼町出身。札幌市在住。
2000年より札幌市のコンテンツ制作会社でイラストレーターとして活動を開始。デジタルアニメーションのキャラクターデザイン・全作画担当。また、2001年～2006年まで札幌市内のファッションビルにてオリジナルグッズの販売や似顔絵制作を行うショップを出店。2011年10月よりフリーのイラストレーターとして活動。
懐かしく、ほのぼのとしたイラストの制作を行っている。

【イラストレーター池田蔵人HP】 <http://ikedakurando.com>

あしたへつながる防災知識

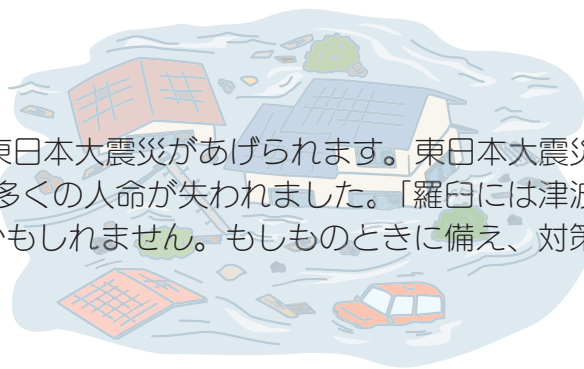
第21弾

津波の知識をつけよう

前回の広報では雪害である融雪害の説明をさせていただきました。しかし、災害は冬限定の雪害だけではなく、日頃から注意する必要がある災害もあります。今回は近い将来、北海道太平洋側沿岸部で発生するとされている巨大地震、その地震の中でも特に注意が必要な「津波」の被害や身を守るための警報などをご紹介します。

津波の被害

日本で発生した津波で大きな被害が発生した地震に東日本大震災があげられます。東日本大震災では予想を遥かに超える高さの津波が沿岸部を襲い、多くの人命が失われました。「羅臼には津波が来ない。」とっていると、より大きな被害がでるかもしれません。もしものときに備え、対策を考えておきましょう。



津波警報

津波による災害が予想される場合、地震が発生してから約3分を目途に警報が発表されます。

種類	発表基準	発表される津波の高さ	想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (高さの予想区分)	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m越 (10m<予想高さ)	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所に避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)	
		5m (3m<予想高さ≤5m)	
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。 沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所に避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	海の中では人は速い流れにまきこまれ、また、小型船舶が転覆します。 海の中にいる人は直ちに海から上がり、海岸を離れてください。

巨大地震が発生した場合はその直後から、何をすべきか判断し、迅速に対処しなければなりません。自然は人間の予想を上回ります。少しでも被害を減らすため、地震が発生したときに自分がどう行動するべきか、日頃から確認しておく必要があります。それぞれが地震の時はどう行動するべきか、もう一度確認しておきましょう。

新型コロナウイルス感染症とタバコについて



喫煙は新型コロナウイルス肺炎重症化の最大リスクといわれています。中国・武漢を中心にCOVID-19患者を分析した研究では、喫煙者は人工呼吸器が装着される、あるいは死亡する危険性が非喫煙者の3倍以上になることが明らかになりました。

世界保健機構（WHO）もCOVID-19対策として禁煙することを強く推奨する声明を出しています。

緊急事態宣言発出後、外出の自粛が求められており、自宅で家族と過ごす時間が増えていますが、その結果受動喫煙が増えてしまっただけでは大切な家族の健康を害することになります。ベランダや台所の換気扇の下で喫煙しても家族の受動喫煙はなくなりません。

みなさんは、肺は再生しないということをご存じでしょうか？喫煙によっていったん壊れてしまった肺は、もとの元気な肺には戻りません。確実にいえることは、「今の肺が一番元気!!」ということなのです。

何年タバコを吸ってしようとも、この時、この時点での肺が、その後の人生の中で「一番元気」な肺であり、「今がやめ時」なのです。

あなた自身と家族、同僚など周囲の人を守るためにも、この機会に禁煙を!!

「比較的楽に」「より確実に」「あまりお金もかけずに」禁煙できる禁煙治療

医師により処方され健康保険等の適用が可能なのは、ニコチンを含まない飲み薬と医療用のニコチンパッチです。



ニコチンを含まない飲み薬
適用が可能



ニコチンパッチ
適用が可能



ニコチンガム
適用されません

羅臼町役場 保健福祉課 TEL 87-2161

子育て情報ひろば ~すくすく~

ありんこは月～金
9:30～11:30まで
火・水・木は午後も開放!



ママの手作り
マスクをして来所!
手にシュッシュッ
消毒!上手!!

小さな子どもにはマスクの着用は心地よいものではありませんね。でもママが作ってくれたマスクです。思いをきちんと汲んでくれます。

★新型コロナウイルス
感染予防対策★

♪ 6月・7月のありんこ情報 ♪

※新型コロナウイルス感染予防対策のため日程を変更する場合があります。

6月3日(水) ありんこ広場
6月17日(水) ありんこ広場
7月1日(水) ありんこ広場
7月15日(水) ありんこ広場
7月29日(水) ありんこ広場

6月5日(金) すくすく広場
6月24日(水) ありんこ広場
7月3日(金) すくすく広場
7月22日(水) ありんこ広場
7月31日(金) のびのび広場

6月10日(水) ありんこ広場
6月26日(金) のびのび広場
7月8日(水) ありんこ広場
7月27日(月) 計測

- * 7月27日(月)保健師、歯科衛生士、栄養士が来て計測と相談を受けます。母子手帳をご持参下さい。
- * 毎週火曜・水曜・木曜日の13時～16時30分まで一時預かりを行っています。事前にお申込み下さい。幼稚園行事の際に、下のお子さんの午前預かりもしますのでご相談下さい。

お問い合わせ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 TEL88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

がんドックのお知らせ

日本人の2人に1人は、がんになると言われています。「病院へ定期的に通院しているから大丈夫」と思う方がいるかもしれませんが、しかし、一般外来では、検査をしていなければ、見つけることは困難です。

「がん」の早期発見により、治る確率が上がります。

知床らうす国保診療所では、皆様の健康寿命をサポートするため、がんの特化したドックを始めました。是非ご活用ください。

大腸・胃・肺
3点同時に行う場合
2,000円
割引します

がんドックの種類と検査内容

大腸がんドック ■大腸がんは40歳ごろから増え始めます。



□大腸カメラ検査 **18,000円** (税抜)

バリウム検査に比べ、内視鏡検査ではリアルタイムに病気などを観察できるメリットがあります。必要に応じて、病変の組織を一部採取したり、ポリープの切除を行います。組織を採取し、検査に出した場合は保険請求となります。

胃がんドック ■胃がんの予防と早期発見に。



□胃カメラ検査 **14,000円** (税抜)

□ピロリ菌検査 (オプション) **2,000円** (税抜)

大腸カメラ検査同様です。また、胃粘膜の萎縮や胃がんに関係していると言われるピロリ菌の有無を調べます。

肺がんドック ■タバコを吸われる方にお勧めします。



□胸部CT検査、肺機能検査 **10,000円** (税抜)

胸部X線ではなく、低被爆のCT検査により初期の肺がんを見つけることが出来ます。

その他のドック・健診も従来通り実施しております。

- ◆ 雇い入れ・事業所健診 5,500円～12,000円
- ◆ 船員手帳健診 9,500円～15,500円
- ◆ 生活習慣病予防健診 0円～4,000円
- ◆ 人間ドック 38,500円～42,500円
- ◆ 心臓ドック 55,000円 (役場の助成金がある場合は25,000円)
- ◆ 脳ドック 33,000円 (役場の助成金がある場合は18,000円)
- ◆ 骨密度健診 2,000円
- ◆ 動脈硬化検診 1,500円



～予約・お問い合わせ～

知床らうす国保診療所 Tel.87-2116



羅臼町120年町制施行60年

知っておこう！羅臼町120年

明治34年（1901年）9月1日に標津外六カ村戸長役場から植別村（現羅臼町）が分離独立して誕生しました。

これは、江戸時代から続く^{さけ}鮭・^{ます}鱒の漁に加え、明治20年頃より^{たら}鱈・^{かれい}鰈・^{おひょう}大鰾等の漁の成功により、人口が増えたためといわれています。



村から町へ60年

昭和36年（1961年）8月1日に町制が施行され、羅臼村から羅臼町となりました。

これは、戦後の安心感による全国的な人口増加に加え、引揚者や魚田開発事業、昆布採取業の広がりによる人口増加に伴い、羅臼に市街地が形成されていったためといわれています。

～これまでも これからも 知床とともに～

郷土資料館も10年

平成23年（2011年）12月26日に旧植別小中学校の校舎をリニューアルして開館しました。

国指定重要文化財「松法川北岸遺跡出土品」や「ヒカリゴケ」など、羅臼の歴史・文化・自然について展示しています。

詳細は、町のホームページをご覧ください。
(<https://www.rausu-town.jp/pages/view/179>)



郷土資料館ふるさと体験講座

令和2年度秋頃に、「町制施行（昭和36年）の頃の羅臼市街地」と題した体験講座を予定しています。

この講座では、市街地図が残されていない、昭和36年頃の復元を、参加者のご協力を得て実施する予定です。

これに先立ち、昭和36年頃の市街地の様子が分かる写真などお持ちの方は、郷土資料館（TEL88-3850）まで情報提供ください。



管理システムを使った貸出

春松小学校が、令和2年度文部科学大臣表彰子どもの読書活動優秀実践校に選ばれました。

学校司書を教務部に配置したことにより、学校図書館全体計画に基づいて全学年で各教科の授業を支援し、学校図書館が日常的に授業で活用されるようになり、学校図書館の機能が向上した実績が評価を受けました。

令和2年度文部科学大臣表彰

子どもの読書活動優秀実績校
羅臼町春松小学校が受賞!!



町の子どもの読書活動がホットです！
2団体が受賞 おめでとーうございませう

また、町図書館と連携し、管理システムを導入して蔵書をデータベース化し、町図書館や道立図書館の相互貸借を利用するなど、図書を積極的に活用し、読書活動の充実につなげたことが受賞理由となりました。

こぐまちゃんサークル
令和元年度
根室管内教育実績表彰!!

10年に及び読み聞かせ活動を通して、地域の子どもたちの読書活動推進や子育て支援に取り組む、優れた功績をあげたことにより、町内の読み聞かせ団体「こぐまちゃんサークル」が、令和元年度根室管内教育実践表彰を授与されました。



羅臼小学校1年生への読み聞かせ

盾と賞状を受け取った会員らは「10年という節目に表彰を頂き光栄です。今まで子どもたちに読んできた絵本が、心のどこかに残り、思いやりや優しさにつながってくれたら嬉しいです。」とおっしゃっていました。



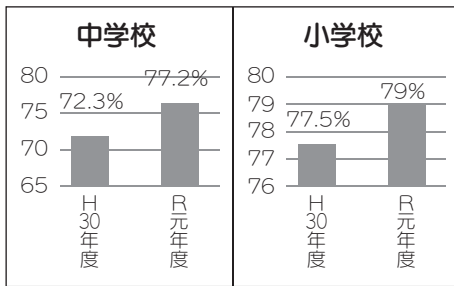
会員の半数が卒業生の親によるボランティア

*活動に興味のある方は図書館までお問い合わせください。
TEL 871-2004

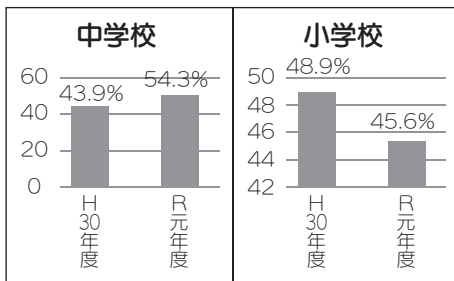
羅臼町子どもの読書の現状と課題

町の子どもの自律・親育ち応援チーム絡むすびによる子どもたちの生活実態についてのアンケート調査から、読書に関わる項目について、令和元年度の結果と前年比をお知らせします。

●質問 読書は好きかどうか
●回答 当てはまる・どちらかという割合はまるをを含めた割合



●質問 学校の授業時間以外に普段1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか
●回答 10分以上



●検証 小中学校どちらも伸びを示した。今後も高学年向けにブックトークを行うなど、多様な活動を取り入れ、町図書館と学校が連携をしていく必要がある。

●検証 小学校で減、中学校で増となった。小学校ではゲーム時間が増えているため読書の時間を確保することが課題。中学校では、読書が習慣づけられてきている。興味を持てる本を薦めるなどの働きかけが必要である。

新規採用職員紹介

- ① 名前
- ② 所属
- ③ 今後の抱負

～令和2年4月1日付けで、8名が町職員として採用されましたので紹介します～



- オオバヤシ コウキ
① **大林 甲来**
② 総務課
③ 早急に仕事を覚え、役場の先輩方の力になれるよう頑張ります



- サトウ タイセイ
① **佐藤 大誠**
② 教育委員会
③ 町民の皆様を笑顔にするような働きをしていきたいと思っています



- アイキヒカル
① **相木ひかる**
② 保健福祉課
③ 笑顔いっぱい頑張ります
よろしくお祈いします



- ヒラタ マミ
① **平田 真美**
② 総務課
③ 一日一生を大切に頑張ります



- ナウミ タクユキ
① **七海 隆之**
② 保健福祉課
③ 町の福祉向上に貢献できるよう研鑽に励みますのでよろしくお祈いします



- タデハラ アイ
① **蓼原 愛**
② 教育委員会
③ 羅臼町の図書館司書として、皆さんのお力になれるよう頑張ります！



- フジモト ココロ
① **藤本こころ**
② 春松幼稚園
③ 羅臼町のため一生懸命努めたいと思います



- シミズ タイキ
① **清水 大暉**
② 企画振興課（北海道教育庁派遣職員）
③ 皆様のお役に立てるよう全力を尽くします！

よろしくお祈いします

NATURE RAUSU

～羅臼町地域おこし協力隊通信～



4月から羅臼町の地域おこし協力隊として着任した加茂 ^{かも}久弥 ^{ひさひろ}と申します。出身は札幌市で、年齢は28歳です。着任して約1ヶ月になりますが、今まで住んでいた所とは違い、驚くことがたくさんあります。

例えば、鹿が3頭、我が物顔で街中を歩いている姿や、海岸でトドが回遊している姿は札幌ではまず、見る事ができない光景です。野生動物の住むところに私たち人間が住んでいることを実感させられました。

羅臼町に少しでも早く慣れるために様々なところに顔を出し、羅臼町の方々に自分の顔を覚えていただきながら、羅臼町がもつ魅力をPRするために頑張っていこうと思います。羅臼町の皆さまこれからよろしくお祈いいたします。



ふるさと

忘れもしないあの時代、あの日
当時の記憶を元島民の声で



筆者紹介

千島歯舞諸島居住者連盟 高岡 唯一氏

たかおか ただいち

昭和10年に歯舞群島多楽島で生まる。昭和20年まで北方領土の1つである「歯舞群島 多楽島」で過ごし、第2次世界大戦終了後、当時のソ連軍の侵略により同年9月に根室市へ引き揚げる。その後羅臼町に移り住み、現在に至る。

毎年、修学旅行生や北方領土返還要求県民会議などの青少年に対し、年10回程度の語り部講師を務めるなど北方領土返還要求運動の啓発・普及に日々活躍している。

北方領土の歯舞群島多楽島で昭和10年に生まれ幼少期を島で過ごしました。

現在85歳となり、当時を回想するときは、いつも「故郷」という唱歌「兔追いし かの山 小鮎釣りし かの川 夢は今もめぐりて 忘れがたき 故郷 思いいずる 故郷」この曲を歌います。そうすると10歳の頃の少年になれるのです。

家業は、昆布の採集生産を営んでおり、来る日も来る日も雨の日も風の日も親の手伝いをさせられました。子どもも昆布干しや取り込みと大人と同じ仕事をさせられ、また、子どもの役割として浜辺にあがった雑昆布を干して、製品にならない昆布を畝にして焼く時の火の番をさせられました。今でも煙のにおいが鼻に感じるほどです。焼けて灰になったものを袋（カマス）に入れ、馬車で精製工場に持ち込むとその灰が分類されヨード（薬品）と火薬の原料になったのです。これは、戦時中のお國の為の仕事をしてた訳です。

戦時中は、親の仕事を手伝う生活が当たり前となっていました。現代のように生活は多様化、生活物資が豊富な時代ではないので、隣近所の交流が強く、助け合いの日常が大人も子どもも身につけていた時代です。

「ふるさと」への想い

「羅臼町から国後島までの距離はどれくらいですか」
羅臼国後展望塔へ来館された方が目の前に広がる国後島をみてまず初めに思う疑問です。
羅臼町に住んでいる方なら簡単に分かることと思われがちですが、正しく答えられる方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。

住んでいるからこそ、身近に北方領土が感じられるからこそ分からないことが多く、また知る機会も少ないのではないのでしょうか。

その知る機会の第一歩として、歯舞群島多楽島出身の高岡唯一さんのお話を広報らうすにて6回に分けてお届けしていきます。次号をお楽しみに！！

町では協働のまちづくりを推進しています。
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を
実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えて
います。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！



4月6日(月)・7日(火)・8日(水)・9日(木)

入園・入学おめでとう！

町内の各幼稚園・小学校・中学校・高校にて入園式、入学式が行われました。

各幼稚園では、羅臼幼稚園15名・春松幼稚園17名、各学校では、羅臼小学校12名・春松小学校17名・知床未来中学校42名・羅臼高校40名の園児、生徒達が入園、入学されました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から来賓や参列者の規模を縮小する等、通常とは異なる雰囲気の中での実施となりました。

3月から各幼稚園、各学校が臨時休園、休校し再開されることなく春休みへ突入。長い休みが明けて久しぶりの友達との再会に、マスク越しにも嬉しい様子が伝わってきました。

新型コロナウイルス感染症の1日でも早い終息を願い、元気いっぱいに登園・登校する園児、生徒達の姿を楽しみにしています。



羅臼幼稚園



春松幼稚園



羅臼小学校



春松小学校



知床未来中学校



羅臼高校



4月24日(金)

羅臼町シルバーいきがいセンター によるボランティア活動

松法町から礼文町の間のおソスケ地区において、羅臼町シルバーいきがいセンターの皆さんによるボランティア活動（ごみ拾い）が行われました。

松法漁港に21名が集合し、1時間ほどをかけたごみ拾いが行われた結果、130kg（袋で20以上）ものごみが集まりました。ごみの内容は、空き缶やペットボトルが主で、車からのポイ捨てによるものと思われる。

不法投棄（ポイ捨て）は犯罪ですので絶対にやめてください。

羅臼町シルバーいきがいセンターの皆さん、本当にありがとうございました。



おめでとうございます

春の叙勲 瑞宝単光章 田村 勉氏

昭和49年に羅臼町消防団員へ入団され、43年間にわたり、献身的な活躍で消防団活動に尽力された功績により瑞宝単光章を受章されました。おめでとうございます。



農山漁村女性活躍表彰 水産庁長官賞 田中 郁子氏

羅臼産水産物の消費拡大、地域経済発展に大きく尽力された功績により水産庁長官賞を受賞されました。おめでとうございます。



TAXコラム

(税務財政課通信)

情

RAUSU TOWN

報ひろば

INFORMATION

町税の早期納税にご協力を！

現在、令和2年度町税の納税通知書発付の準備中です。令和元年度の町税をまだ納税していない方は、早急に納税してください。

また、平成27年度より町税を納期限後に納められた場合は、遅れた日数に応じて延滞金を加算して徴収しています。「ある時払い」や「漁期切上時の一括納税」等を行っている方は、これを機会に納期内納税に努めるようお願いします。

納期内納税できない方は、分割納税など納税相談にも応じていますので、その場合は必ず役場税務財政課へご相談ください。

【5・6月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 5月31日(日)、6月28日(日) 午前9時～午後5時まで

〈夜間窓口〉 5月29日(金)、6月30日(火) 午後7時まで

〈お問合せ先〉 役場税務財政課 TEL87-2113

ヒグマの対応状況をお知らせします



クマの目撃・出没状況、捕獲状況や対策など、5月から2ヶ月毎に情報をお伝えしていきます。また、クマの出没がなくなる1月に今年度の総括として、ご報告する予定です。

©知床財団



4月のクマ目撃・出没状況

◆対応件数2件(前年度24件)

◇昆布浜(単独グマ)…番屋向かいの斜面側

◇知床岬(単独グマ)…人を追い回すクマの調査

4月のクマ駆除状況

◆駆除件数0件(前年度1件)

クマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などクマが届かない場所に干す、草刈りを行うなど、ご協力をお願いします。
- 住宅用の電気柵を知床財団で貸し出ししています。詳しくは知床財団(87-2828)まで
*数に限りがありますのでご了承ください。

24時間対応

クマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見した際は、役場産業創生課(87-2126)までご連絡下さい。

おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(敬称略)

寄付・寄贈ありがとうございました

【財政調整基金】

高部電気(株) 代表取締役 高部 英男 様

【羅臼町体育文化振興基金】

(株)マルナカ 代表取締役 中西 正幸 様

【知床・羅臼まちづくり基金】

【地域資源を活かした活力ある産業のまちに関する事業】
札幌美容協同組合 様
(令和2年3月11日～令和2年5月10日受付分掲載)

町長室



『風雪に耐え』

「風雪に耐え」旧羅臼中学校創立の時から校庭の石碑に書いてあった言葉です。令和2年を迎えてすぐ新型コロナウイルスが私たちの生活を一変させてしまいました。現在まで羅臼町から感染者を出すことなく今日を迎えられているのも羅臼の地域力のすごさだと実感しています。

まだまだ何が起こるか分からない状況ではありますが、大自然の中、厳しい環境や風雪に耐えて生き抜いてきた羅臼町民の地域の力を結集してこの難局を乗り越えていきましょう。(町長)

人の動き

令和2年4月末現在 ()内は令和2年3月末対比

人口 4,820人 (+17) 男 2,404人 (+14)
世帯 2,071世帯 (+23) 女 2,416人 (+ 3)

編集後記

羅臼町にも桜の季節がやってきましたね。
数年前のGWのことになりますが、新ひだか町にある二十間道路に行ってきました。お目当ては桜並木ですが、約2,200本の桜の木に可愛らしい花が咲き、写真を撮らずにはいられないくらいの最高のロケーションでした。機会があればもう一度行きたい場所となりました。ぜひ皆さんにもおすすめしたいです。
今年のGWは残念ながら町外にお出掛けすることは叶わなかったですが、状況が落ち着いたら、思いっきり遊びにいきたいですね。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 令和2年5月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
http://www.rausu-town.jp/